

■ 緊急シンポジウム

【テーマ】

児童生徒が安全・安心に運動に取り組むことができる体育授業の指導法や学習環境の検討
～小学校の水泳授業における水難事故から考える～

【テーマ設定の趣旨】

2024年7月に、高知県内の中学校のプールで小学校4年生の児童が水泳の授業中に溺死する事故が発生した。さらに同年8月には、北海道北広島市内のプールで小学校6年生の児童が水泳の授業中に溺れて意識不明の重体となる事故が発生した。相次いで発生したこれらの水難事故は、これからの水泳授業の在り方を含めて、児童生徒が安全・安心に運動に取り組むことができる体育授業の指導法や学習環境等を再考する契機を与えた。そのため、本学会では、「児童生徒が安全・安心に運動に取り組むことができる体育授業の指導法や学習環境などの検討について」（2024年9月9日）を学会HPで示すに至った。

本学会では、水泳授業を対象とした研究はこれまで数多く発表されてきたものの、安全に留意した指導法や水泳授業における事故防止を検討する研究については、決して十分ではなかったといえる。また最近では、公立学校の教員採用試験において、水泳の実技が実施されない自治体も多く、今後、水泳の授業が安心・安全に実践されていくためにも、今回の水難事故を踏まえて、どのようなことに留意しながら授業実践や研究に取り組むべきかについて検討すべきと考え、本シンポジウムを企画した。

【開催日時】

2025（令和7）年1月12日（日）13：30～15：30

【開催方法】

Webexを用いたリアルタイム配信によるオンライン形式

【司会進行】

吉永 武史（早稲田大学）

三田部 勇（筑波大学）

【演者】

安本 直哉先生（大阪府茨木市立春日小学校教諭）

松井 敦典先生（鳴門教育大学教授）

堀井 雅道先生（国土舘大学准教授）

【タイムスケジュール】（予定）

13：30～13：35 シンポジウムの趣旨説明及び演者紹介

13：35～14：05 シンポジスト①発表

14：05～14：35 シンポジスト②発表

14：35～15：05 シンポジスト③発表

15：05～15：25 質疑応答

15：25～15：30 シンポジウムのまとめ